

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	事業所と地域交流の活動は努力しているが、利用者様が地域とつながりを持つことが不十分である。	地域の行事等への参加はもちろん、まず職員が地域とのつながりを持ち、利用者様の交流につなげていけるような活動を継続して行う。新型コロナウイルス感染症が5類感染症へと移行になったので、活動の見直しをする。	地域で開催される認知症イベントや行事を把握し参加すると共に、入所者様が関われる活動を個別に具体的に計画を立て、実施していく。来年の地域の夏祭り等への参加の計画を立てる。	12ヶ月
2	10	アンケートの実施や推進会議での質疑応答では利用者様や家族からの意見提案が少ない為、運営が施設主体に偏っていないか。	ご利用者様の意見や生活への理想を会話の中で聞き取り、ご家族様と共有し、求められていることを具体的に支援できる仕組みを作る。	生活の中で集めた入所者様の要望を、推進会議などの場を利用し適時(要望)内容を伝えながらご家族様からの意見も盛り込み、運営に反映できるよう施設側に伝える場を作る。	12ヶ月
3	43	利用者様の認知症の進行状況が職員間で把握・共有できていない場面があると、排泄の失敗が増えたりオムツの使用が増えてしまっている時がある。	適時・適切な対応を心がけ、利用者様の自立した排泄を維持できるように支援する。	定期的なアセスメントに加え、利用者様の行動や状況を職員が観察し記録することにより、トイレへの声掛けや必要な支援を確認し実施できるよう情報共有をする。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。